

平成28年(2016年) 8月の結果 (二人以上の世帯)

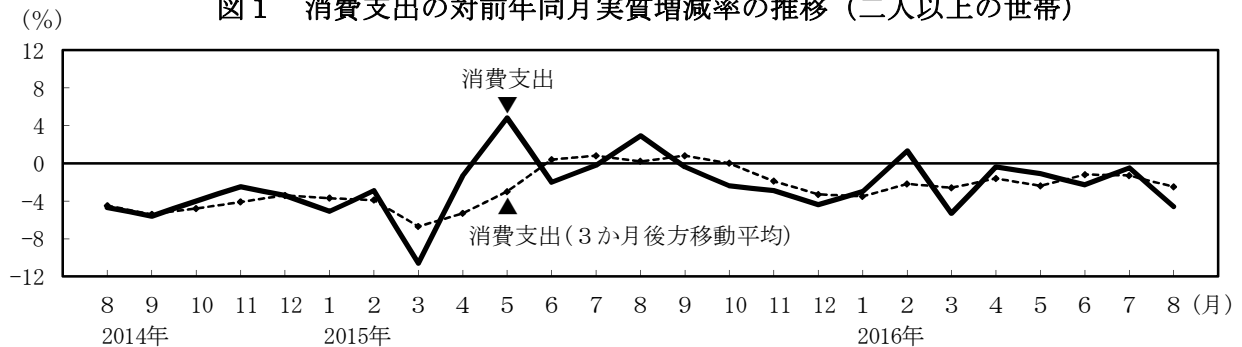
消費支出

・消費支出は、	1世帯当たり 276,338 円	
前年同月比	実質 4.6%の減少	名目 5.1%の減少
前月比(季節調整値)	実質 3.7%の減少	
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 243,832 円	
前年同月比	実質 3.1%の減少	名目 3.6%の減少
前月比(季節調整値)	実質 2.3%の減少	

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

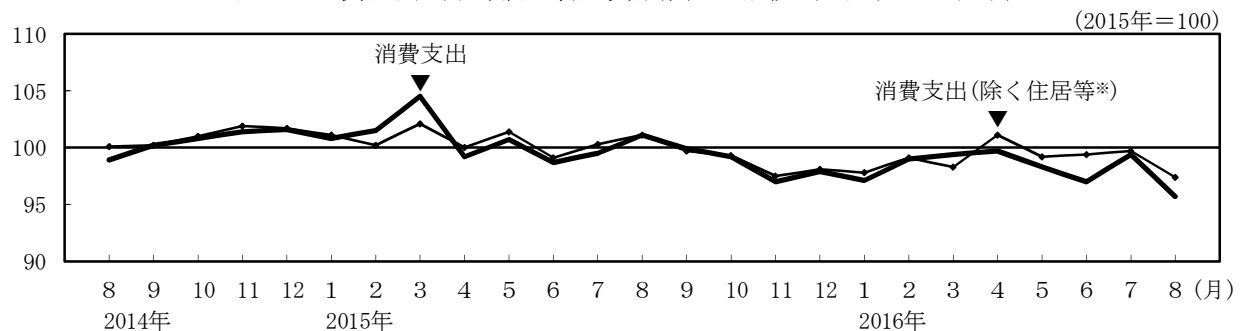


	2015年					2016年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	2.9	-0.4	-2.4	-2.9	-4.4	-3.0	1.3	-5.3	-0.4	-1.1	-2.3	-0.5	-4.6
消費支出(除く住居等)	1.9	-0.9	-2.4	-2.9	-4.3	-2.7	2.0	-4.3	0.4	-0.9	-0.4	-0.8	-3.1
(参考) 3か月後方移動平均													
消費支出	0.2	0.8	0.0	-1.9	-3.3	-3.5	-2.2	-2.6	-1.6	-2.4	-1.2	-1.3	-2.5
消費支出(除く住居等)	0.5	0.8	-0.4	-2.0	-3.3	-3.4	-1.9	-1.9	-0.8	-1.7	-0.3	-0.8	-1.5

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2015年					2016年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	101.1	99.9	99.2	97.0	97.9	97.1	99.0	99.4	99.7	98.3	97.0	99.4	95.7
対前月変化率(%)	1.6	-1.2	-0.7	-2.2	0.9	-0.8	2.0	0.4	0.3	-1.4	-1.3	2.5	-3.7
消費支出(除く住居等)	101.1	99.7	99.3	97.5	98.1	97.8	99.1	98.3	101.1	99.2	99.4	99.7	97.4
対前月変化率(%)	0.8	-1.4	-0.4	-1.8	0.6	-0.3	1.3	-0.8	2.8	-1.9	0.2	0.3	-2.3

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年8月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	276,338	-5.1	-4.6	-		6 か月連続の実質減少
食 料	73,961	-0.7	-1.3	-0.34	<減 少> 外食,魚介類など	2 か月ぶりの実質減少
住 居	15,012	-16.5	-16.8	-1.04	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	2 か月ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	18,740	-8.2	-1.1	-0.08	<減 少> 電気代,ガス代など	3 か月連続の実質減少
家具・家事用品	10,860	-7.7	-6.6	-0.27	<減 少> 家庭用耐久財,家事雑貨など	2 か月ぶりの実質減少
被 服 及 び 履 物	8,024	-10.8	-12.9	-0.40	<減 少> 履物類,洋服など	3 か月連続の実質減少
保 健 医 療	12,933	8.2	7.2	0.30	<増 加> 保健医療サービス,医薬品など	3 か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	37,013	-9.4	-7.3	-1.03	<減 少> 自動車等関係費	3 か月連続の実質減少
教 育	7,388	-6.0	-7.5	-0.20	<減 少> 授業料等,教科書・学習参考教材	4 か月連続の実質減少
教 養 娛 楽	30,485	-2.7	-3.1	-0.34	<減 少> 教養娯楽用品,教養娯楽サービスなど	4 か月連続の実質減少
その他の消費支出	61,923	-5.4	(-4.9)	(-1.11)	<減 少> 交際費,諸雑費など	3 か月ぶりの実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	243,832	-3.6	-3.1	-		4 か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[-1.42]	自動車購入, ガソリン
設備修繕・維持	[-0.71]	外壁・塀等工事費, 給排水関係工事費
交際費	[-0.58]	贈与金, つきあい費
諸雑費	[-0.44]	婚礼関係費, 葬儀関係費
外食	[-0.27]	和食, 飲酒代
電気代	[-0.24]	
家庭用耐久財	[-0.24]	エアコンディショナ, 電気掃除機

< 増加項目 >

通信	[0.30]	移動電話通信料
上下水道料	[0.11]	
保健医療サービス	[0.10]	医科診療代, 歯科診療代
飲料	[0.08]	茶飲料, 果実・野菜ジュース

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

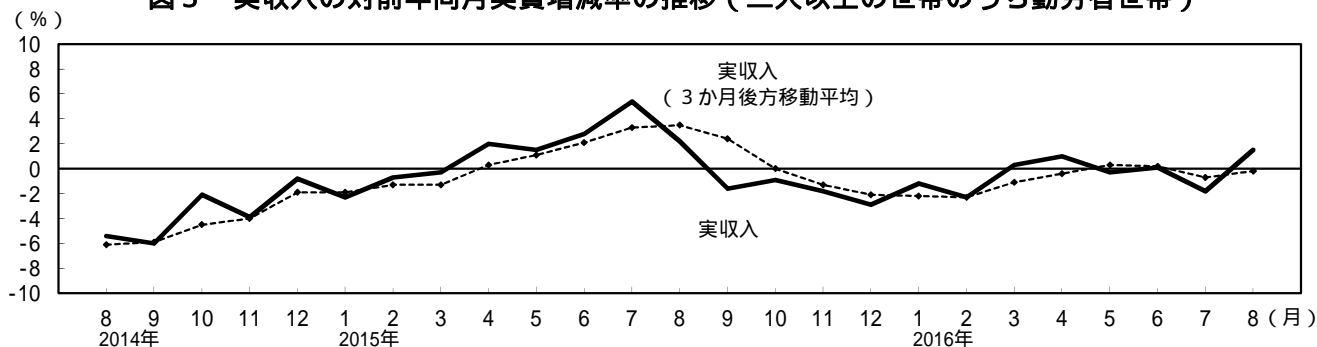
実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 480,083 円
前年同月比 実質 1.5%の増加 名目 1.0%の増加

3 勤労者世帯の収支

(1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



	2015年					2016年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実 収 入	2.2	-1.6	-0.9	-1.8	-2.9	-1.2	-2.3	0.3	1.0	-0.3	0.1	-1.8	1.5
(参考) 3か月 後方移動平均	3.9	2.6	0.2	-1.1	-1.8	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1	-0.2	-1.1	-0.6
名 目	3.5	2.4	0.0	-1.3	-2.1	-2.2	-2.3	-1.1	-0.4	0.3	0.2	-0.7	-0.2
実 質													

(2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳（2016年8月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	480,083	1.0	1.5	-	2か月ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	362,480	1.3	1.8	1.34	2か月ぶりの実質増加
定 期 収 入	345,798	0.2	0.7	0.52	3か月ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	57,712	-6.2	-5.7	-0.74	3か月連続の実質減少
他の世帯員収入	7,735	11.6	12.2	0.18	5か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	88,390	5.2	-	-	3か月ぶりの増加
可 処 分 所 得	391,693	0.1	0.6	-	2か月ぶりの実質増加
消 費 支 出	301,442	-5.0	-4.5	-	4か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	77.0	(前年同月) (ポイント差) 81.1 -4.1			季節調整値でみると70.4%で、前月に比べ1.1ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。